果実とやすらぎの里・北海道仁木町

令和6年5月16日発行

第144号

議会だより にき

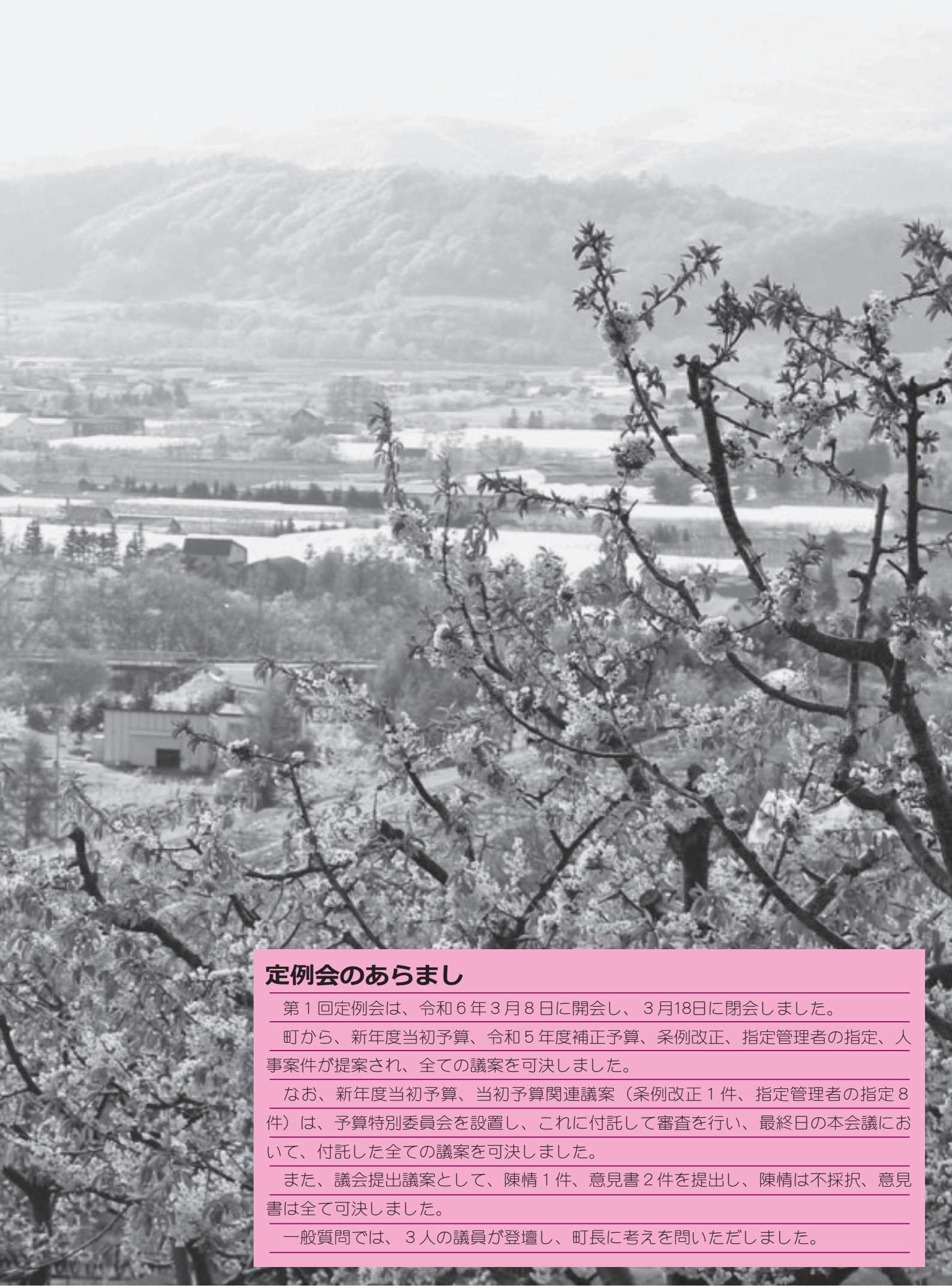
今年の予算
子ども・子育て世代への支援増へ

議会HPはコチラからCheck!

CONTENTS

第1回 Town NIKI assembly 定例会
今年のしごとピックアップ 6
町政のそこが聞きたい 一般質問 3人の議員が登壇 15
全員協議会 フルーツパーク 道の駅構想に期待 21
意見交換会 子育て世代の貴重な意見 23

絆 なかよしきょうだい！（関連記事24ページ）



定例会のあらまし

第１回定例会は、令和６年３月８日に開会し、３月18日に閉会しました。

町から、新年度当初予算、令和５年度補正予算、条例改正、指定管理者の指定、人事案件が提案され、全ての議案を可決しました。

なお、新年度当初予算、当初予算関連議案（条例改正１件、指定管理者の指定８件）は、予算特別委員会を設置し、これに付託して審査を行い、最終日の本会議において、付託した全ての議案を可決しました。

また、議会提出議案として、陳情１件、意見書２件を提出し、陳情は不採択、意見書は全て可決しました。

一般質問では、３人の議員が登壇し、町長に考えを問いただしました。

新年度のまちの予算

町民とともに推進するまちづくり

次ページは 新年度予算の概要

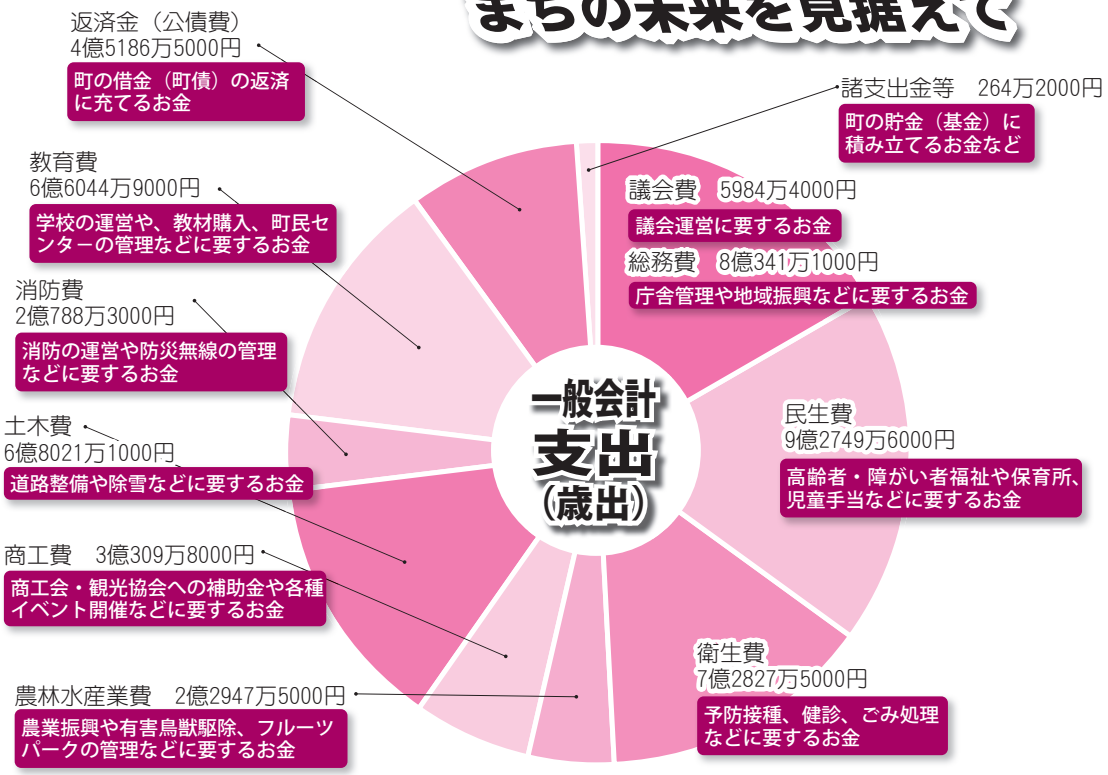
代への支援増へ

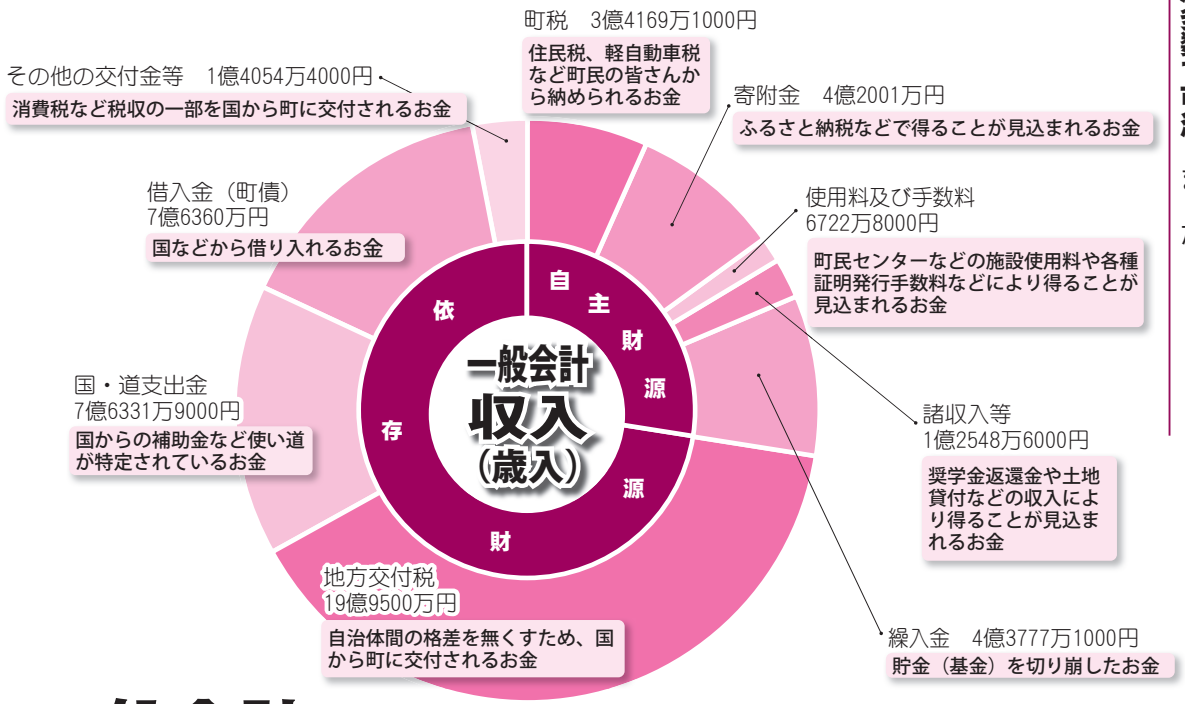
令和６年
第１回定例会
3月8日～18日

まちの未来を見据えて

令和６年第１回定例会において、令和６年度一般会計予算と国保・後期高齢者医療の各特別会計予算、簡易水道事業会計予算が提案されました。

これに伴い設置された「令和６年度各会計予算特別委員会」における集中審議ののち、本会議において、討論・採決を行った結果、すべての会計を**賛成多数で可決**しました。



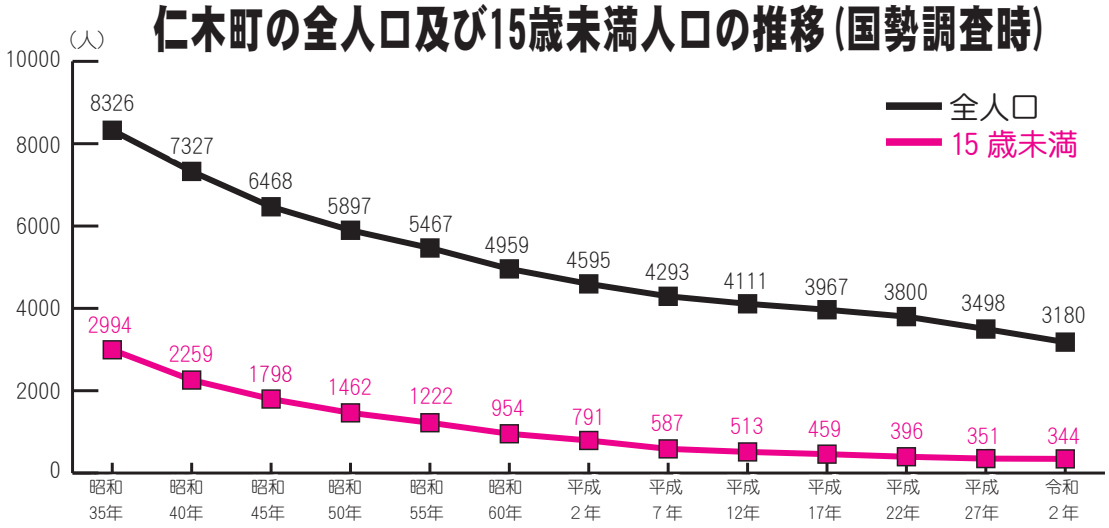


一般会計（歳入・歳出）

50億5464万9000円【前年度対比6.7%減】

新年度 予算 子ども・子育て世

仁木町の全人口及び15歳未満人口の推移（国勢調査時）



地域の将来を支える0～14歳の人口は2050年には、2020年と比べて道内の7割を超える129市町村で50％未満となることが予測されている中、本町は全道で9番目に少ない35・8％の減少に止まることが予測されています。

全国的にも人口減少に歯止めがかからない中、国は「異次元の少子化対策」を施策として打ち出していますが、それに町独自の施策を加え、人口減少の克服や子育て世帯への負担軽減を図り、持続可能な自立した町づくりを進めていくことが求められています。

特別会計

国民健康保険事業 **2億722万1000円**【前年度対比 2.5%増】

後期高齢者医療 **8042万8000円**【前年度対比 3.2%増】

簡易水道事業費用 **4億1250万1000円**【今年度から企業会計に移行】
【収支的支出＋資本的支出】

町政執行方針

自信をもって町づくりを進める

佐藤（さとう） 聖一郎（せいいちろう） 町長

佐藤町長は、令和6年度町政執行方針において、「厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所が昨年12月に公表した将来推計人口によると、北海道内の少子化が全国を上回るペースで進む実態が明らかになりました。

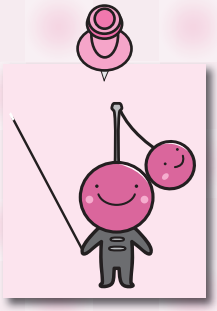
本町は、少子化対策に一定の成果は見られるものの、町が持続していくためには出生率を維持し、少子化に歯止めをかけることが喫緊の課題であることを改めて認識するところであります。

このことから、令和6年度においては、子ども・子育て世代への支援を最重要課題と位置付け、国が進める子ども・子育て政策の推進に努めるとともに、本町独自の支援を拡充いたします。

『すべては未来の子どもたちのために』の想いを踏まえて、子ども・子育て世帯への支援に力を注いでまいります」と述べました。

次ページは 今年のしごと ピックアップ

しごとアップ



新規 乳幼児等医療費 助成範囲を拡大

942万円

対象期間が３年間延びます

助成対象を満15歳に達する日以後の最初の３月31日までから、満18歳に達する日以後の最初の３月31日までに拡大します。

ちょっと言わせて！

乳幼児医療が４月から高校生まで対象となり、安心です。
子育ても、生活も、お金の心配をせず、皆が夢を持ちワクワクできる町になったらいいなと思います！

（北町・大塚（おおつか）さん）

新規 放課後児童クラブの 利用料を無償化

210万円

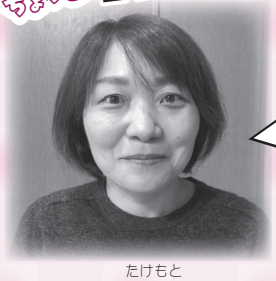
仁木では建物も新しくなりました

仁木及び銀山放課後児童クラブの利用料を無償化し、更なる子育て世代の負担軽減を図ります。

ちょっと言わせて！

物価高騰の中、無償化の決定は本当にありがたいです。
春休みや冬休みの期間も、朝の８時から開所することについて、検討していただけないでしょうか。

（銀山・菊地（きくち）さん）



ちょっと言わせて！

給食の無償化はとても嬉しいです。
物価高騰で食材も節約が必要だとは思いますが、子ども達の楽しみの一つなので質や量を改めて気を付けていただきたいです。

（西町・武本（たけもと）さん）

新規 学校給食費無償化

1043万円

給食費は増加傾向にありました

物価高騰に直面する子育て世代の経済的負担を軽減することを目的に学校給食費を徴収しないこととします。

今年のピック

新規 ニキボー生誕祭10周年事業

88万円

全国にたくさんのお友達ができました

ニキボーが生誕10年の節目を迎えることから、管内市町村から「ゆるキャラ」を集め、生誕祭を開催します。

ちょっと言わせて！

（仁木町・ニキボーさん）

ぼくとタケボーは平成26年に生まれて、今年で10周年です。
これからも、仁木町のＰＲをして、世界中のみんなとお友達になりたいな！
仁木町のみんなも、ぼくに会いに来てね！

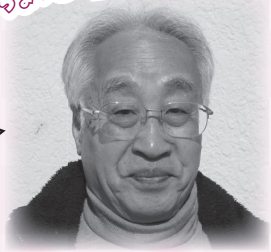
新規 町道仁小中線道路改良測量設計委託業務

1229万円

路面の凹凸が目立ちます

令和7年度の道路改良工事に向け、令和6年度は測量設計委託業務を実施します。

ちょっと言わせて！



（北町・高士（たかし）さん）

地域が長い間待ち望んでいた町道の改良工事がいよいよ始まりますね。
特に高齢者や子どもにとって安心・安全な道路が早くできるよう、心待ちにしています。

新規 コスモス30外壁等改修事業

1億7495万円

建築してから20年以上経過しています

仁木町営住宅コスモス30の外壁塗装や屋上防水、バルコニーや共用廊下の改修等を実施します。

ちょっと言わせて！

（北町・大黒（だいこく）さん）

当初の予定より1年遅れましたが、外壁の他に駐輪場や入り口付近のタイルも直してもらえると聞いており、みんな喜んでいます。
ただ、外壁は涼しくなる9月以降にやってほしいです。

次ページは 新年度予算の使い道

予算の使い道

新年度一般会計・特別会計・簡水会計の当初予算案や当初予算関連議案などは、議長を除く議員8名で構成する「各会計予算特別委員会」を設置し、延べ3日間にわたり審査を行いました。

議案説明後、活発な質疑が行われ、全ての質疑が終わった後、議案ごとに討論・採決を行った結果、全ての議案を賛成多数で「可決すべきもの」と決定しました。

委員会での質問数 **73回**

街灯のLED化を予定しています

LED化の経済効果は

町が管理している町道に設置している街灯30基のLED化改修工事はどの程度の効果を見込んでいるのか。

広報交通係長　年間約65万円の電気料金の削減を見込んでいる。

PR方法の見直しは

農産物PR・販路拡大事業について、ホームページを見ても目を引くものがない。プロの目線でのPRの仕方ができないのか。

産業課長　町のPRの大きな要因となっているのはふるさと納税である。この度、ふるさと納税の委託業者をプロポーザルで決定したが、受託業者がPRのための写真を刷新していただけることになっており、大きく期待している。今後、注視して頂ければと考えている。

政策効果の高い事業とは

予算編成の基本方針に、政策効果の低い事業を徹底して削減し、政策効果の高い事業に転換するとされている。その指標があると思うが、政策効果の高い状態というのはどのような状態か。

副町長　ニーズがあるものについては一定の政策効果があると思うし、その政策の横展開なりさらなる発展、また、弱者の救済や支援などに結びついていくことをやっていけば政策効果が一定程度図られると考えて、予算査定をしている。

予算特別委員会で徹底審議

皆さんの税金 新年度

イベント開催経費の今後は

前田 5つのイベント開催経費である補助金や協賛金は今後少なくしていくのか。

産業課主幹 さくらんぼフェスティバルとうまいもんじゃ祭りについては、町を代表する2大イベントということもあり、減額の話し合いはもたれていない。

その他のイベントについては、ゆくゆくは自走化して頂く前提で、徐々に減らしていくような話合いをもっている。

イベントには町外からも多くの方が参加します

コスモス30の改修工事対応は

上村 数年前にふれあい39の外壁改修を行った際には、夏場で風の通りが良くなかったとのことだが、今回もそのようになるのか。

建設課長 ふれあい39の工事の際には、黒いシートの他、塗装をするためにビニールシートを張ったので、入居者の方から「暗い」や「暑い」等の声があった。

今回は、白っぽいシートを使うことや、スポットクーラーを用意することを考えている。

エアコンの設置時期は

木村 仁木の小中学校にエアコンを設置するための実施設計策定に係る委託料を計上しているが、国の補助金が出れば工事は前倒しされるのか。

教育委員会主幹 現在の計画では、令和6年度に実施設計を行い、実施設計が終わり次第、予算がついて、補助金の追加申請が通り、工事を施工する業者と資材が確保され、施工するための学校の休業期間があるという条件が揃えば前倒しできる可能性がある。

水道管更新の進捗状況は

佐藤 水道管の老朽化等に伴う更新について説明があったが、毎年計画的に実施している中で、進捗率は。

水道係長 配水管の実延長は10万1075メートルであり、平成14年度から更新した延長は7万3561メートルである。

よって、進捗率は約72・7％である。

次ページは 第1回定例会審議内容

畑地化促進で土地改良区に支援

令和６年
第１回定例会
3月8日～18日

補正予算

◇一般会計（第7号）
◇一般会計（第8号）

一般会計補正予算（第7号及び第8号）は、歳入では、ふるさと納税寄附の減や畑地化促進事業の補助金の追加等、歳出では仁木町放課後児童クラブやコミュニティバスの燃料費の追加、相談支援事業委託の未払消費税の追加及び相談支援事業委託の過去5年分の未払消費税の補償金等の支出見込による追加や各種事業の完了による減額補正等が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

◇国保特別会計（第3号）
全員賛成で可決

◇後期医療特別会計（第3号）
全員賛成で可決

令和５年度各会計補正予算結果

	補正額	予算総額
・一般会計（10回目の補正）	9752万2000円減	56億322万6000円
・一般会計（11回目の補正）	208万4000円増	56億531万円
・国民健康保険事業特別会計（３回目の補正）	64万円減	1億9703万8000円
・後期高齢者医療特別会計（３回目の補正）	37万8000円増	7635万7000円

質疑あれこれ

諸収入の項目で、違約金及び延納利息ということで３０００円の内容について伺う。

産業課長　狩猟免許の取得事業により免許を取得した方が、昨年7月に猟友会退会届を提出された。

仁木町狩猟免許取得補助事業実施要綱では、「資格取得後10年間は北海道猟友会仁木支部及び仁木町鳥獣被害対策実施隊に加入して有害鳥獣被害の軽減に貢献しなければならない」とされており、違反した場合には補助金を返還することが定められている。

また、仁木町補助規則では、「補助金の返還を命ぜられた場合は、補助金交付の日から起算して年10・95％の違約加算金を町に納付しなければならない」とされていることから、今回の補正に至ったものである。

畑地化促進事業の内容の詳細は。

産業課長　令和5年度の国庫事業で、改良区に対する決済金の支援という事業であり、対象者は余市川土地改良区である。

畑地化促進事業により転作田が畑に転換されることで、土地改良区の賦課金が減収することに対し、国が支援するものである。

畑地化すると水利権を手放すことになるのか。

産業課長　水利権は失われない。水田と畑では賦課額が違うため、その差額を国が支援するものである。

町内9施設の指定管理者決定

施　設　名	指　定　管　理　者
高齢者福祉施設（いきいき88）	東京美装北海道株式会社
山村開発センター	
大江へき地保育所	大江へき地保育所父母会
銀山へき地保育所	銀山へき地保育所父母会
然別生活館	然別町内会
大江コミュニティセンター	大江町内会
銀山生活改善センター	特定非営利活動法人 銀山さわやか福祉NPO
銀山老人憩の家	
観光農園等管理施設（観光管理センター）	一般社団法人仁木町観光協会

※指定期間は３年間

指定管理者

高齢者福祉施設（いきいき88）や、観光農園等管理施設（観光管理センター）など、町内９施設の指定管理者を指定する議案が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

いずれの施設も指定期間は３年間です。

以下に予算委員会内での質疑を紹介します。

質疑あれこれ

Q　大江へき地保育所は、３年前の更新の際に、３年経ったら保育所を止めるとの話があったと聞いていたが、今後また３年間は続けることで話合いはされているのか。

A　毎年、大江へき地保育所の父母会と11月に懇談会を実施しており、昨年の懇談会で、今後の継続の関係の話もさせていただいた。その際に、今回の３年間について確認したところ、父母会から引続き３年間行う旨を確認したため、今回の手続きに至っている。

佐藤町長の行政報告

すこやか子育て支援センター運用開始

令和４年度より建設工事をしていました仁木町すこやか子育て支援センター、通称ｉｋｏｒが、令和６年３月４日より順次運用開始となりました。

２月17日の内覧会には、２２１名の方々が見学に訪れ、２月23日には工事関係者をご案内しての落成記念式を開催いたしました。

この施設により、保育所の待機児童解消や児童を預かる機能、子どもの居場所づくりの機能など子育てへの支援を充実してまいります。

トヨタレンタリース新札幌と協定を締結しました

２月20日、株式会社トヨタレンタリース新札幌と災害時の避難所等における外部給電可能な車両からの電力供給の協力に関する協定を締結しました。

本町における大規模災害の発生、又は発生するおそれがある場合に、町の要請に基づき、外部給電可能な車両を貸与していただき、町が開設した避難所等で車両からの電力供給が可能となるよう協力いただくことを目的に協定を交わしたものです。

今回の協定で株式会社トヨタレンタリース新札幌様のご協力の下、体制の整備充実を図り、地域の安心安全が守られるよう、防災力の向上に努めてまいります。

次ページは　第１回定例会審議内容

医療費の無償化 高校生まで拡大

令和６年
第１回定例会
3月8日～18日

条例改正

仁木町乳幼児等医療費助成に関する条例の一部改正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

この度の改正は、乳幼児等医療費助成の対象を、現在の満15歳に達する日以後の最初の３月31日までの者を、満18歳に達する日以後の最初の３月31日までの者へ拡大するものです。

さらに、受給資格の除外対象として、保護者に監護されていない乳幼児等が追加されました。

また、**仁木町選挙ポスター掲示場設置条例の一部改正**が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

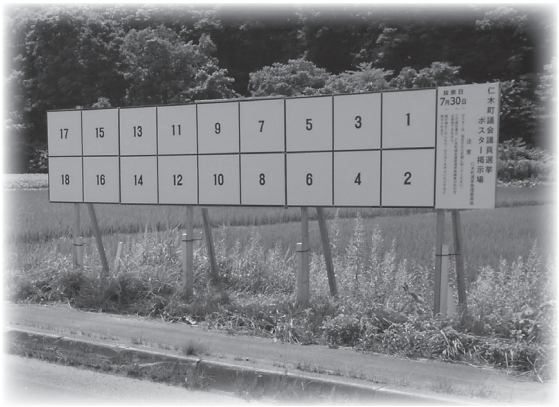
この度の改正は、現在は６つある投票区ごとに掲示場の数を規定していますが、各地区の有権者数の減少により、それぞれの地区からの申し出を受けて、然別地区を仁木地区の投票区に、長沢地区、尾根内地区を銀山地区にそれぞれ統廃合し、これに伴いポスター掲示場の数を変更するものです。

質疑あれこれ

上村

この件は町の選挙だけなのか。国政選挙の場合はどうなるのか。

総務課長　これは公職選挙法施行令で決まっているため、国政でも道政でも、変わりはない。



掲示場の数は大幅に減ることになります

岩井教育長の教育行政報告

小中一貫教育推進会議について

仁木町小中一貫教育推進会議を２月28日に開催しました。

会議では、小中一貫教育の取組状況や、仁木中学校の大規模修繕、学校の暑さ対策、銀山地区義務教育学校基本設計について説明したほか、令和８年度に開校予定の銀山地区義務教育学校の校名を決定しました。

学校名については、小学校低学年などにわかりやすい名称であることや、銀山小学校・銀山中学校の名前が残るとの理由から、「銀山小中学校」と決定しました。

今後も、委員の皆さまとともに本町の小中一貫教育の在り方について議論を深め、取組を進めて参りたいと考えています。

陳情は　不採択

陳情

▼件名
「（仮称）古平・余市ウインドファーム事業」に反対する陳情

▼提出者
「仁木町の風力発電を考える会」
代表
穂積豊仁

「仁木町の風力発電を考える会」から『「（仮称）古平・余市ウインドファーム事業」に反対する陳情』が提出され、委員会付託を省略し、審議の結果、**全員反対で不採択**とすることに決定しました。

陳情要旨（一部抜粋）

お世話になっております。

この度は、お陰様で、仁木町はウインドファーム計画から外れましたが、余市・古平町は継続中で、（株）関西電力による「方法書」縦覧が仁木町でも行われました。

昨年12月、仁木町にも景観に影響がある事で、余市・古平町と共に、関電の住民説明会が開催されました。

景観はもちろんのことながら、余市・古平町で風車建設が実施されれば、想定される被害は、仁木町に於いても変わりません。

「仁木町の風力発電を考える会」は、（株）関西電力の計画する「（仮称）古平・余市ウインドファーム事業」に対して、下記4項目の理由により、建設の反対表明を致します。

議会におかれましては、それぞれが、住民の代表として、住民の立場に立って、実りある論議を尽くし、町長と関西電力に対して反対表明をしていただきたく陳情申し上げます。

【理由】
①風車によって景観が変わり、仁木町のイメージが壊れる懸念
②低周波や超低周波音による町民の健康被害の懸念
③鳥獣害増加による安全性や、営農上の被害の懸念
④益虫やミツバチなどの昆虫が激減する懸念

議員さんたちも、「考える会」のメンバーも、ともに仁木を良くしたいという思いは共通であるはずです。その同じ思いに立って、仁木町にとっても、仁木住民にとっても、本当に風車が必要なのかどうか、真剣に話し合いたいと思います。

関西電力の甘言や、目先の利益に惑わされず、百年の大計を立てて頂きたいと願うばかりです。

以上、熟慮勘案のほど、よろしくお願い申し上げます。

討論

本事業計画の賛否については、古平・余市両町が主体的に判断することが前提であり、以上のことを踏まえて、本陳情については反対する。

仁木町が含まれていない計画であり、私としては取り上げるべきではない、古平・余市町の事案である。

よって、本陳情に反対する。

その他の議案

▼仁木町課設置条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町簡易水道事業給水条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町民スキー場設置管理条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町水泳プール設置条例の一部改正
全員賛成で可決

次ページは 意見書・一般質問のトビラ

令和６年
第１回定例会
3月8日～18日

国・政府等へ要望

高齢者も若者も安心して老後を暮らせるように！

老齢基礎年金等の引き上げを要望

意見書

▼物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引き上げを求める意見書

提出議員　上村智恵子
賛成議員　宮本　幹夫

厚生労働省は平成25年以来11年間で物価が８・１％上昇する中、年金支給率は０・８％の上昇で、差し引き７・３％を減額する改定を行った。

この間に、消費税が引き上げられ、一部の後期高齢者医療費窓口負担が２割に増え、介護保険料の引き上げが実施された。

物価上昇が家計を圧迫し、北海道では暖房費を節約するため寒い部屋で過ごしている高齢者も少なくない。

よって、高齢者も若者も安心して老後を暮らせるように、物価上昇に見合う老齢基礎年金等の支給額を引き上げることを要望するもので、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**し関係機関に提出しました。

健康を維持するための活動も重要です

その他の意見書

▼刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書

提出議員　野崎　明廣
賛成議員　嶋田　茂

全員賛成で可決

人事案件

固定資産評価審査委員は那須さんと勝浦さんを再任

固定資産評価審査委員会委員に那須さんと勝浦さんを再任することに対し、**全員賛成で同意**しました。

◆固定資産評価審査委員
那須　勝さん（銀山）
勝浦　弘志さん（南町）

ぎかいトピックス

学校給食試食会を実施

魅力ある献立で給食を楽しむ

３月８日の第１回定例会（１日目）終了後に、佐藤町長、林副町長、岩井教育長を招き、学校給食試食会を実施しました。この試食会は、学校給食の献立と調理の状況及び食味把握のため、平成18年より毎年実施しているもので、今回は鶏肉のピリ辛焼きを中心としたメニューでしたが、中学生と同じ量の給食をいただき、その量の多さには驚かされました。

配布された３月の献立には、卒業のお祝いデザートが提供される日などもあり、献立を考える栄養教諭の方の生徒への思いが伝わるような工夫が見られました。

給食試食会メニュー
ごはん・じゃがいもの味噌汁・鶏肉のピリ辛焼き・ほうれん草のごま酢和え・牛乳（785kcal・カロリー）

一般質問

第１回定例会の一般質問には、３人の議員が登壇しました。
紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。

町政のそこが聞きたい

さとう　ひでのり
佐藤　秀教　議員

人口減少問題に係る取組成果と今後の展望は 16

のざき　あきひろ
野崎　明廣　議員

遊休町有地の活用計画を 17

うえむら　ちえこ
上村智恵子　議員

防災・減災対策について 18

一般質問の詳しい内容はコチラから Check!
（第１回定例会）

ニキポーのなになに？

一般質問とは

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、又は疑問をただすことです。

次ページは 一般質問（佐藤議員・野崎議員）

さとう　ひでのり
佐藤　秀教　議員

コンパクトシティ化の考えは

町長　今後の課題として検討することも必要

問　本町は現在「第６期仁木町総合計画」等に基づき、計画的に少子高齢化対策など人口減少問題に鋭意取組んでいるが、子育て支援対策の取組成果と今後の展望は。

町長　妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援を行ってきたことで、**国立社会保障・人口問題研究所**が昨年12月に公表した推計人口において、０歳から14歳の人口が２０５０年に２０２０年対比で全道で９番目に少ない減少率であり、一定の成果が見られたものと認識している。

　来年度は高校生までの医療費無料、学校給食費の無償化等を実施し、子育て環境の一層の充実を図る。

問　来年度子育て支援として、小中学校の給食費の完全無償化など、様々な取組をする中で、町長にとって重要な少子化対策とは何か。

町長　少子化の要因として、晩婚化・未婚化が考えられるが、国全体の社会システムが変革するぐらいの方針をたてなければ少子化対策にせよ、様々な諸課題を解決することにつながらないと捉えている。

問　人口減少対策として、若者が「住みたい・住んでみたい」町のイメージは重要であり、そのような取組も必要と考えるが、町長の見解は。

町長　若者たちが地域に来るようなきっかけづくりを前向きに行っていくべきで、ワインイベントや若い地域おこし協力隊のメンバーとワイナリー事業者のつながりで事業を生み出し、町外からたくさんの方々が来るきっかけになっている。今後もそのような事業展開ができるよう、町も支援していきたい。

問　将来的な人口減少を見据えて、コンパクトシティ化を視野に入れた、効率の良い行政運営を進める考えは。

町長　町がどう縮むべきか、今後の課題として検討することも必要であるという認識のもと、今後のまちづくりを進めていかなければならないと考えている。

給食費を無償化する自治体は増えてきました

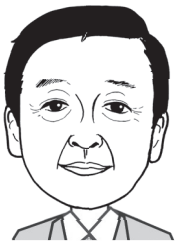
ニキポーのなにになに？

国立社会保障・人口問題研究所とは

　厚生労働省の施設等機関で、社会保障及び人口問題に関する調査及び研究を行うことを通じて、国民の福祉向上に貢献することを目的として設立。

多目的滞在施設隣接地の今後は

町長　町としていろいろ展開したい



のざき　あきひろ
野崎　明廣　議員

問　町が貸し出している町有地4か所の借地料の内訳は。

総務課参事　大江1丁目のふきのとうの横は全額減免、銀山3丁目のぎんれい団地の横は年間で25万510円、大江2丁目の旧生活改善センター・大江保育所跡地は今月末までの契約で12万2902円、銀山2丁目の旧櫻ヶ丘団地跡地は年間15万8200円となっている。

問　貸出しの他に、法人税はどうなっているのか。

財政課長　均等割と法人税割があるが、均等割の令和5年度の実績では、おおよそ550万円程度の収入状況である。

問　町が保有する農地を新規就農者の研修目的として活用する考えはないのか。

産業課長　町が保有する農地を新規就農者向けの研修用地として活用することは可能だと考えている。指導する人員の確保や研修に要する設備等の準備など、多くの課題があるが、新規就農者受入協議会を中心に、より良い受入環境の整備を目指してまいりたい。

問　企業が町へ土地の情報を求めて相談に来ることもあると思うが、町の遊休町有地を活用する支援としては可能性があるのか。

総務課参事　法人・個人から、例えば購入したい等の話があれば、当然話を伺い、状況に応じて対応していきたいと考えている。

問　宅地整備実証事業は、事業者との意見交換もされているようだが、定住促進の検証はされているのか。

企画課長　大手デベロッパーからは防災、子育て等の関係で、大きなまちづくりとしての提案だったが、町は宅地の整備・田園住宅としての販売を考えていたため、取組まなかった。

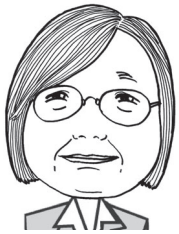
問　観光管理センターも含めた、多目的滞在施設と隣接する土地の今後の活用計画は。

町長　現状のままだと、観光的資源としては弱く、観光管理センターの施設そのものの在り方も今後検討していかなければならない。

あの辺を一体化して、観光的資源の要素を高める場所として、いろいろと展開できればという構想は持っている。

旧野球場跡の活用が期待されます

次ページは　一般質問　上村議員　第1回臨時会



うえむら　ちえこ
上村智恵子　議員

防災・減災対策を見直す必要は

町長　更なる防災意識の向上に努める

問　水道が使えなくなった時の井戸水の確保はできているのか。

町長　役場庁舎及びフルーツパークにきで井戸水を使用しており、確保できている。

問　防災・減災のための地方単独事業で、令和6年度の事業対象にトイレカーの整備が入っている。避難所でトイレカーの必要があると思うが、購入しないのか。

企画課長　現時点では、避難時においては備蓄している簡易トイレを活用する予定である。

問　避難所の担当責任者が住民環境課及び福祉課となっているが、どこの避難所は誰と具体的に決めてはいないのか。

企画課長　避難所を開設するかしないかというのは個別に判断するということで、どこを誰が担当するということについては、現状決めていないが、住民生活対策班で対応するということだけを決めている。

問　自家発電設備を備えたガソリンスタンドが休止になったが、住民拠点サービスステーションは今後どうなるのか。

町長　これまでは、国や道の補助金を活用して整備が進められていたが、現在は当該補助事業はなく、町としては同様の支援は予定していない。
　また、災害時には隣町等の住民拠点サービスステーションに行っていただくことになる。

問　行政報告にあったハイブリッドカーからの電力供給はとても大事だと思うが、近隣も一緒に被害を受けた時には、どのようにレンタカーを届けてくれるのか。

企画課長　小樽市に営業店があり、町から要請した段階で調整していただき、取りに行く形になろうかと思う。

問　自治体の車として、ハイブリッドカーに替えるべきだと考えるが、近々、車の買い替えはないのか。

町長　令和6年度から優れた経験・知識・技能を有し、安全・安心の即戦力となる幹部自衛官の退職者を防災専門職員に採用し、防災意識の向上に努める。

問　講演会などを開催し、防災の知識を学習することが大切だと思うが、いかがか。

総務課参事　令和7年度に向けて準備を進めている。

町では簡易トイレを備蓄しています

令和６年

第１回臨時会

2月13日

能登半島地震

義援金１００万円

臨時会のあらまし

第1回臨時会は、2月13日に開会し、同日閉会しました。

町から、補正予算2件、条例改正、条例制定が上程され、全員賛成で可決・承認しました。

補正予算

◇一般会計（専決第3号）

◇一般会計（第6号）

一般会計補正予算は、物価高騰に対する低所得世帯への支援、医療・福祉事業者への交付金、子育て世帯への支援事業や事務費、石川県能登半島地震被災地への義援金１００万円等の追加補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で承認・可決**しました。

令和５年度各会計補正予算結果

	補正額	予算総額
・一般会計（８回目の補正）	※専決第3号	
	7174万6000円増	56億8524万8000円
・一般会計（９回目の補正）		
	1550万円増	57億74万8000円

条例制定

仁木町すこやか子育て支援センター条例の制定が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

この条例は、設置の目的や使用の承認や制限、運営に関する規定等を定めているものです。

条例改正

▼仁木町児童館条例の全部改正

全員賛成で可決

▼仁木町手数料条例の一部改正

全員賛成で可決

質疑あれこれ

佐藤

この度の能登半島地震義援金は１００万円として補正されているが、金額の根拠は。

総務課長　これまで義援金として、地震の際に交付したのが、東日本大震災と、熊本地震である。

東日本大震災の時は２００万円、熊本地震の時は１００万円としており、熊本地震同様の対応をしたいと考えている。

また、近隣町村において、余市町や古平町、積丹町も同額ということもあり、１００万円に決めた。

上村

児童館条例の中で、「にき小型児童館」となっているが、小型というのは意味があるのか。

福祉課長　国の設置運営要綱において、小型児童館、児童センター、大型児童館の３種類の児童館がある。

面積の大きさや、大型児童館であれば中高生が体を動かすことができる大きい運動場を用意しなければならない等、その施設によって面積要件や設置しなければならない部屋の要件が定まっている。

次ページは　全員協議会

どう変わる 町民スキー場

全員協議会
2月22日

令和６年２月 22 日開催の全員協議会では、
①仁木町民スキー場に関する件
②銀山地区義務教育学校基本計画に関する件
③北後志地域相談支援事業に関する件
上記３件について協議しました。

仁木町民スキー場は昭和58年に開設し、北後志唯一の公営スキー場として運営してきましたが、リフト及び照明等の老朽化が著しく、民間提案制度を活用しリニューアルすることが決定しています。

全員協議会では、令和６年度以降の計画について説明を受けました。

また、銀山地区義務教育学校基本計画に関する件では、主に現在の銀山中学校の校舎を義務教育学校の校舎とするための大規模修繕及び増築等の基本設計の説明を受けました。

さらに、北後志地域相談支援事業に関する件では、現在委託している障がい者相談支援事業が、消費税の対象となることが明確化されたことに伴い、平成30年度～令和５年度の委託料に係る消費税及び地方消費税相当額等を負担することの説明を受けました。

質疑あれこれ

Q 現在、ナイターの場合、上級コースは閉めている。予定図では上級コースにも照明がつく設計になっているが、全てのコースを開けるのか。

A 上級コースをオープンさせるかは、今後２年の間に、指定管理者と検討してまいりたい。

Q リフト降り場については、十分安全対策をしていると思うが、今までと違う工夫した点はあるのか。

A 今のスキー場は左側に降りていくような形をとっていたが、リニューアル後は真っすぐ降りていくような形をとり、その滞留スペースも２・５メートルほど広くとる予定である。

また、従来通り、転落防止ネットも手前に設置しており、さらには、降りた後の傾斜も今までは15度あったものを８・５度と緩やかにし、安全に降りていただけるような設計にしている。

Q 銀山中学校のグラウンドは部分的に沈下している。整備や暗渠等の対応はできるのか。

A 教育委員会では状況を把握しており、昨年の７・８月頃にコンサル会社と共に視察している。

暗渠が壊れている影響だと思われる部分もあり、グラウンドの整備と共に再発防止するような施策をとってもらうよう話はしている。

費用対効果を考慮しながら、鋭意検討してまいりたいが、現在の考えとしては対策をとりたい。

全員協議会
3月18日

令和６年３月18日開催の全員協議会では農村公園フルーツパークにき再構築に関する件について協議しました。

フルーツパーク 道の駅構想に期待

フルーツパークにきは令和８年度に大規模な改修が予定されていますが、今年度に予定されている倶知安―余市道路の仁木インターチェンジ開通や、コロナ禍を経て変化した人々の余暇に対する考え方や観光の目的を踏まえ、町では、フルーツパークにきに付加価値を加えるべく、プロジェクトチームを設置し、施設の再構築に向けた協議・検討を進めてきました。

今回の全員協議会ではプロジェクトチームが策定した基本構想について説明を受けました。

質疑あれこれ

Q　子どもをターゲットにすることが有効だと考えており、せっかく5億円かけてリニューアルするので、勉強し、しっかりまとめあげていってほしいが、いかがか。

A　本町の独創的な観光拠点にし、どこかの自治体と似たような拠点施設は作りたくないという思いである。

ただ、近隣の余市町や共和町はゼロベースで作り上げるが、本町は今あるものをリニューアルさせて、そういった要素を持たせるという部分では、軸がきちんと確立していなければ、基盤のしっかりした観光拠点にはなりえないため、ターゲットも含め、きちんと確立していく。

Q　冬も物が売れるような道の駅を作ってほしい。良い例がニセコ町にあり、開業当初から農家が協力してくれている。

他と違う部分を出していく中で、何を目標にして物を売っていくのか。

A　この町に来なければ手に入らない・体験できないというものが無くてはならない。

通年、いつ来ても魅力的なコンテンツがあることを目指している。

本町ならではの戦略的な作物として他の地域には無いものを施策的に取組んでおり、そういったものを提供できる等の要素が人を呼び込むカギとなる。

魅力的な商品づくりのために地域住民の方を交えて、前向きに考えていきたい。

次ページは　所管事務調査　議会報告・意見交換会

常任委員会事務調査

子育て支援施設の完成状況は

令和6年2月22日に、翌23日に落成記念式を控えた仁木町すこやか子育て支援センターの整備状況について調査をしました。

仁木町すこやか子育て支援センターは工事が完成し、備品が納入されたことから、供用開始前の状況について調査しました。

質疑あれこれ

Q　それぞれの施設の供用開始時期が違うのはなぜか。

A　当初は3月の供用開始を予定していたが、それぞれの運営主体と打合せをしていく中で、保育園については、現保育園舎での最後の卒園生というほうが園児の記憶に残るのではないかという点、おおきな木については、国の補助を受けている事業であるため、年度内に引っ越すことで事務的にも経費的にも負担が大きい点、小型児童館については、2名以上の遊びを提供する職員を配置しなくてはならないことから、職員の採用や教育、引き継ぎを考慮した点などにより、供用開始時期が異なることとなった。

調査を経て、仁木町議会として左記の提言書を町側へ提出しました。

提言書

仁木町議会総務経済常任委員会では、令和6年2月22日に仁木町すこやか子育て支援センターの整備状況についての調査を行い、以下の3項目の提言を取りまとめました。

町長におかれましては、本提言を尊重し必要な検討をしていただきますよう、お願いいたします。

1　施設名のサインについて
表示が小さくわかりづらい状況であるため、今後、利用者からの声も聞きながら、柔軟に対応していただきたい。

2　施設への誘導表示板について
国道5号に誘導板の設置を検討していただきたい。

3　施設内の防犯カメラの設置について
施設内の防犯カメラの設置について、関係者と十分に協議の上、設置の是非を検討していただきたい。

議会報告 意見交換会

子育て世代の貴重な意見

令和６年４月13日(土)町民センター交流ホールにおいて、通算７回目となる議会報告・意見交換会を開催いたしました。１４名の皆さまにご参加いただき、心よりお礼申し上げます。

◆当日の次第
1 開会
2 議長挨拶
3 議員紹介
4 議会活動報告
5 意見交換
6 閉会

今回の議会報告・意見交換会は、子育て世代にクローズアップした意見交換を実施する観点から、仁木小学校のＰＴＡの方限定で開催しました。

当日は、嶋田副議長が司会を務め、横関議長の挨拶、議員の紹介、議会活動報告、意見交換の流れで進行し、特に意見交換に時間を多くとる構成で実施しました。

意見交換の場面では、参加された皆さまから、たくさんの貴重なご意見やご質問をいただき、実りある議論を交わすことができました。

いただいたご意見等を今後の取組に活かし、更なるまちづくりに取り組んでまいります。

皆さまからのご質問

Q 議会活動の周知にＳＮＳを活用したり、議会の様子をＹｏｕＴｕｂｅで閲覧することができるようにしてほしい。

A 周知の手段を多くすることは重要で、需要があると認識した。情報の発信についての課題として、今後議会活性化特別委員会で検討したい。

Q スキー場が２年間休止することで、これまでの１年生にシーズン券を支給する事業が止まったが、リニューアルオープン後には、支給されていなかった世代の子ども達にも支給するのか。

A 何かの機会に教育委員会に質問したい。

Q 昨夏には暑すぎてプールが使えない日もあった。一部に屋根をつけるなど、日陰になる場所を用意できないか。

A 歩く場所の地面が熱くならないような要望は出している。

町内のプールも１か所になったため、対策を講じなければならないと考えている。

貴重なご意見ありがとうございました

※おことわり
ご意見・ご質問の一部を抜粋して掲載させていただきました。

裏表紙は 絆～親子のつながり～・まちの人

議会だより にき
no.144

絆 ～親子のつながり～

出産祝金の拡充を

林　健太郎 さん（東町）

連載34回目は、東町在住の林さんファミリーを紹介します。奥様とお子さん2人の4人家族です。
お仕事は農業を営んでいらっしゃいます。

☺仁木町の子育て環境はどうですか。

支援が手厚くとても良いと感じています。医療費や給食費の補助はありがたいですし、保育園が新しくきれいになって、子どもはとても気に入っています。

☺子育てに関して町に何か望むことはありますか。

人口が減っていく一方なので、出産祝金で100万円贈呈するのはどうですか。あるいは、一人目の出産から祝金を贈呈してもいいのではないでしょうか。
あと、室内で遊べる場所が欲しいです。児童館はできましたが、土日は使えないようですし、ある程度の大きさの建物があると良いと思います。

☺議会を傍聴したことはありますか。

ありませんが、傍聴しに行きたいと思います。先日も、小学校へのエアコン設置の要望書をPTAから出したと聞いています。それがどのように取扱われているのかは知りたいと思います。
子どもがいると議会にはなかなか行きにくいですが、今度、意見交換会も開催されると聞いているので、タイミングが合えば参加したいと思います。

☺お子さんに対してメッセージを！

元気いっぱいで思いやりのある優しい子になってね。

林さんは本町で生まれ育ち、30代前半で町内にあるお父様の農家を継ぐために就農されました。
元気いっぱいなお子さんたちの将来を考えた時に、やはりJRが無くなることが不安に感じるとのこと。
私たち議員も、有効な公共交通機関の在り方について研究して参ります。

（取材・インタビュー　上村智恵子）

輝く町民さんを紹介！ まちの人

農政による充実したサポートを

元地域おこし協力隊　福光　賢治 さん

ワインづくりを目指して、令和元年5月に地域おこし協力隊として東京から本町に移住した福光さん。
「協力隊の3年間は、様々な支援を受けながら農地を耕作し始めることができ、大変有益な時間だった」と振り返ります。
退任後の現在は醸造用ぶどうの栽培とワインの委託醸造をするほか、地域おこし協力隊の仲間と「合同会社 仁木産業振興社」を立ち上げ、ワインづくりに携わっています。
取組のなかで、仁木産ワインに対して道外の酒販店や大手百貨店から多くの注目があることや、生産者との出会いを求めて観光客が産地に足を運んでくれる等、そのポテンシャルの高さに驚いていると福光さんは言います。
また、「仁木町は他の地域と比べて、気候や風土の良さはもちろん、農業一本で食べている先輩農家のノウハウが集まっていて、新規就農する側にとって恵まれた環境」と、本町の魅力についてお話いただきました。
町や議会に対しては、「直近の要望を満たすことも大事だが、特に基幹産業である農業を発展させるべく、将来像を描いて欲しい。例えば、自身が苦労した部分として農地の取得・整備があり、ワインに限らず新たな生産者を増やすため、農政による充実したサポートを期待したい」との要望も。
町外から来た当事者だからこそ、協力隊員や移住者が暮らし続けたいと思える魅力的な生活基盤を用意する重要性について、強くメッセージをいただきました。
福光さんのさらなるご活躍を期待しています。

（取材・記事　山内　健生）

次の議会は
6月
定例会
（6月下旬開催予定）

◆編集・発行責任者
議　長　横関　一雄

◆議会広報編集特別委員会
委員長　嶋田　茂
副委員長　佐藤　秀教
委　員　前田　春奈
山内　健生
木村　章生
野崎　明廣
宮本　幹夫
上村智恵子

発行日／令和6年5月16日（年4回発行）
発　行／北海道仁木町議会
編　集／議会広報編集特別委員会

〒048-2492
北海道余市郡仁木町西町1丁目36番地1
TEL 0135(32)3954
FAX 0135(32)3963

寄付行為の禁止
議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。
また、有権者が求めてもいけません。
ご理解をお願いします。

ニキボー®は一般社団法人仁木町観光協会の登録商標です。　商標登録第６３９８２５４号、６３９８２５５号